

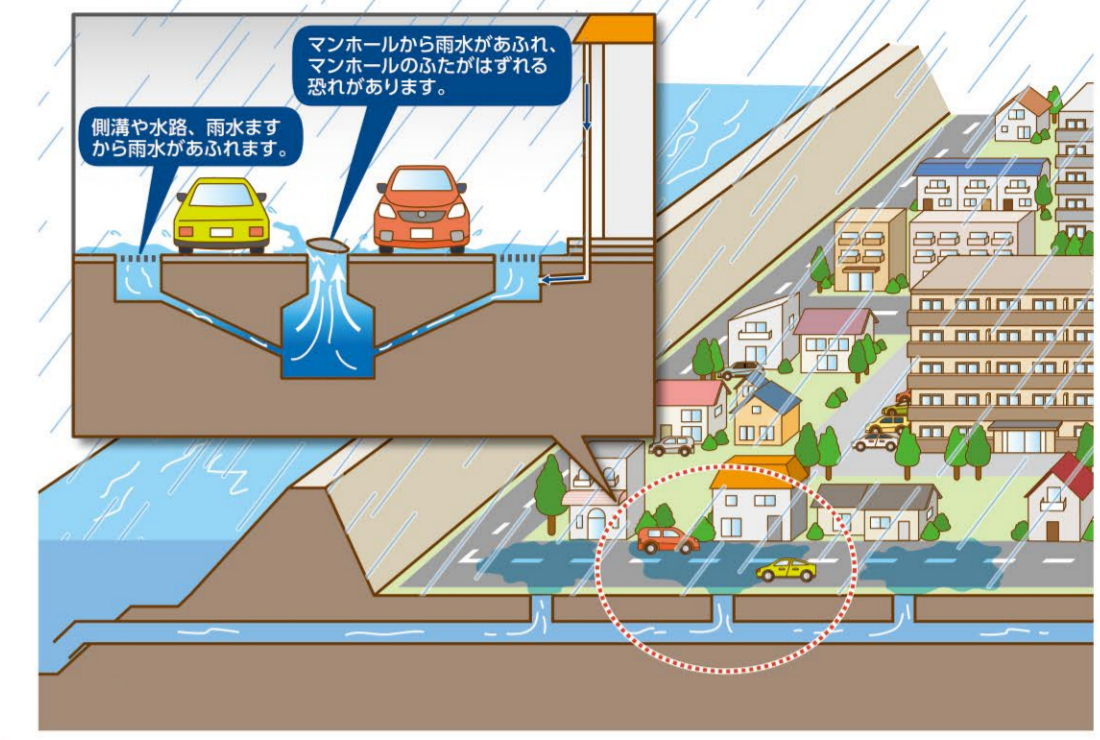
内水浸水想定区域 (想定最大規模) はどうやって決めたの?

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量**153mm**としています。

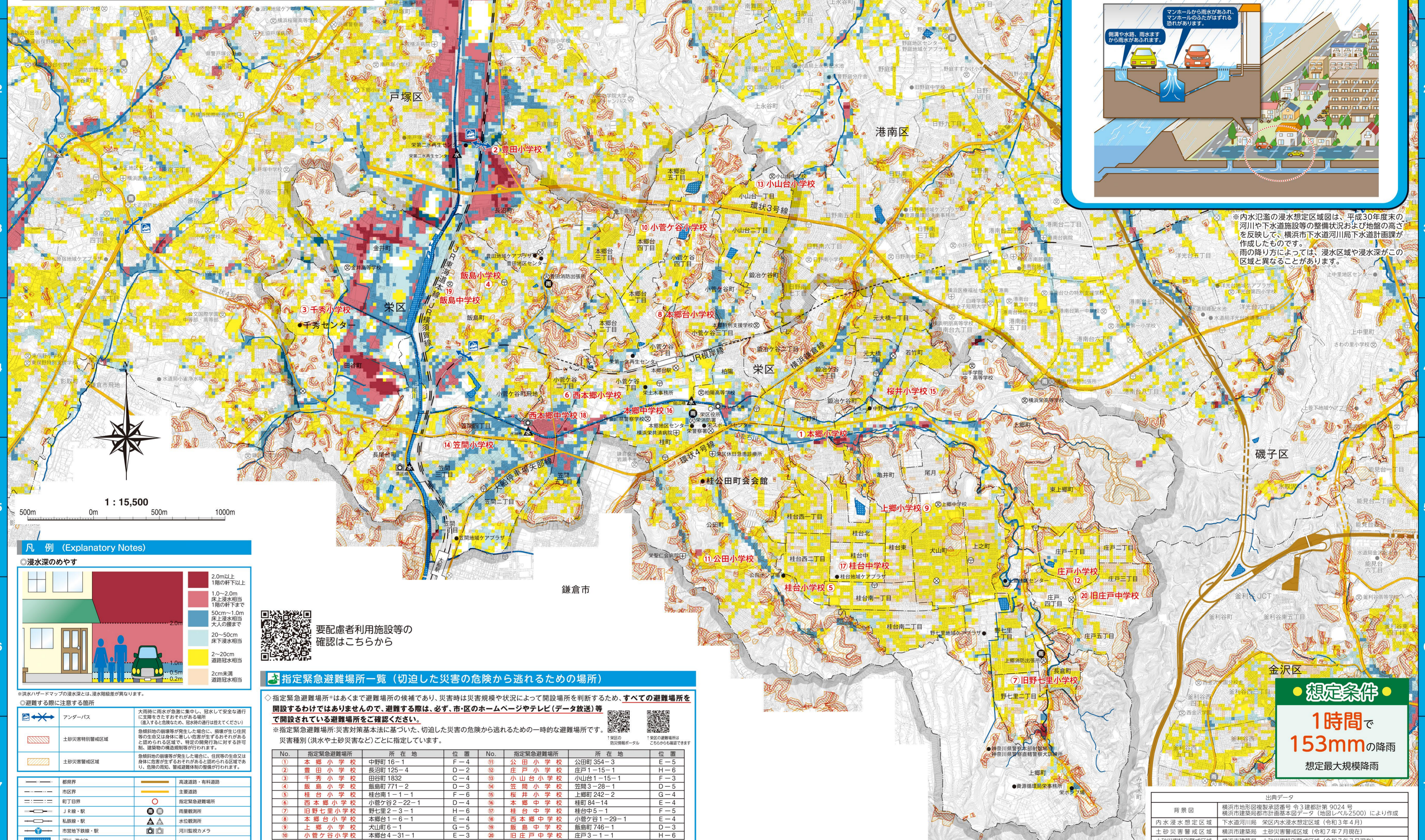
なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

栄区内水ハザードマップ 内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

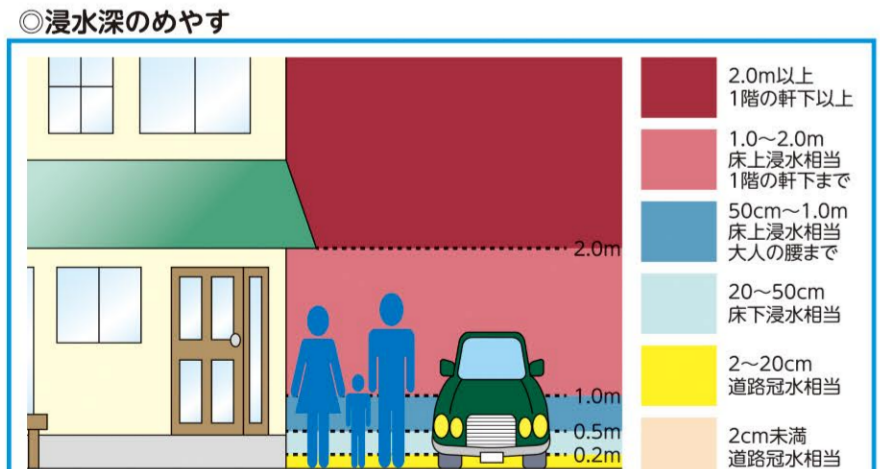


※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市下水道河川局下水道計画課が作成したものです。
雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。



1 : 15,500
500m 0m 500m 1000m

凡例 (Explanatory Notes)



要配慮者利用施設等の
確認はこちらから

指定緊急避難場所一覧 (切迫した災害の危険から逃れるための場所)

◇指定緊急避難場所[※]はあくまで避難場所の候補であり、災害時は災害規模や状況によって開設場所を判断するため、**すべての避難場所を開設されているわけではありませんので、避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)**等で開設されている避難場所をご確認ください。
※指定緊急避難場所:災害対策基本法に基づいた、切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。
災害種別(洪水や土砂災害など)ごとに指定しています。

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置	No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
①	本郷小学校	中野町16-1	F-4	⑪	公田小学校	公田町354-3	E-5
②	豊田小学校	長沼町125-4	D-2	⑫	庄戸小学校	庄戸1-15-1	H-6
③	千秀小学校	田谷町1832	C-4	⑬	小山台小学校	小山台1-15-1	F-3
④	飯島小学校	飯島町771-2	D-3	⑭	笠間小学校	笠間3-28-1	D-5
⑤	桂台小学校	桂台南1-1-1	F-6	⑮	桜井小学校	上郷町242-2	G-4
⑥	西本郷小学校	小菅ケ谷2-22-1	D-4	⑯	本郷中学校	桂町84-14	E-4
⑦	旧野七里小学校	野七里2-3-1	H-6	⑰	桂台中学校	桂台中5-1	F-5
⑧	本郷台小学校	本郷台1-6-1	E-4	⑱	西本郷中学校	小菅ケ谷1-29-1	E-4
⑨	上郷小学校	大川町6-1	G-5	⑲	飯島中学校	飯島町746-1	D-3
⑩	小菅ケ谷小学校	本郷台4-31-1	E-3	⑳	旧庄戸中学校	庄戸3-1-1	H-6

●**想定条件**●
1時間で
153mmの降雨
想定最大規模降雨

出典データ

背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第9024号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
内水浸水想定区域	下水道河川局 栄区内水浸水想定区域(令和3年4月)
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域(令和7年7月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域(令和7年7月現在)